

か？と。 ありがとう！Satoさん。あなたの御蔭で何か動きそうですヨ。

-いやぁーそう言われても。しかし、なんだかい話ッスね！。

遊星っていう言葉を聞くとね非常に懐かしい感じがする。懐かしいっていうのは、この3次元の人生の上で懐かしいと感じるんじゃなくて。なんかきつとあるんですよ。

というのは、こんな夢を見たことがあるんですよ。、自分のこの3次元の名前とは、明らかに違う名前です突然、噂ばれるという一、明らかに違うのだけど、「ああ、これが本来のものだ」という直感があるんですよ。宇宙コードネームのような感じです。そしてイメージ的には「お前、そんなところで使命を忘れてしまって遊んでいるのか、早くこちらに帰還せよ！」みたいな。そんな夢を見た感じがするんですよ。これはおもしろいなあって、目覚めてからず～と思ってました。特に「帰還せよ！」「帰還せよ！」っていう、静かなリフレインの波みたいな感じが印象に残っていて。

その言葉というかイメージは夢だけあって曖昧なのですが、聞いたときに、「あっ、そうだったんだ。俺は何をやっていたんだ。帰還しなくちゃ。」ってね。あっちの方がね、こう、懐かしい友人とかね、本当に分かち合う友がいそうな感じがしてね。非常にあちら側が懐かしいとしきりに思った時があるんですよ。「帰還しなくっちゃ、でもどうやって？いったい何処に？」暫く、訳もなくその辺りをウロウロしたりしてね（笑）まったく。そういうイメージがあったんですけど、そういうのと関連しているのかもしれないね。遊星っていう言葉は帰還する側、あちら側から来たキーワードなのかもしれない、自分がいつか帰還するためのね。

こういうのをやってみるのも一考だと思うんですけど、自分が好きな言葉、好きなモノ、好きな場所とか何でもいから全部書きだしてみようですよ。好きな動作でも状態でも何でもい、それパッと書き出してみてもそれを、手書きでも良いけどワープロなんかで出来たらきれいな文体で並べてみて、それをしばらく部屋の壁なんか貼っておくわけです。写真でもいいんですけど、そうすると共通するあるイメージがぼやーっと、忘れた頃のある日浮かんで来たりするんですよ。そしてそのイメージの本質は何なのだろうってね。好きなモノって、なぜ自分がそれを好きなのかってなると、ブラックボックスですからね。本人もそう深くは考えたことなかったりする。ですから個人の嗜好とかもそう軽視できない何かがあるね。そこから自分の何かを見出す、発見出来るってこともあると思うわけです。、実は僕や君の眼前にいつだってソレはあるのだろうね、きっと。僕らから気付かれるのをもう待ちくたびてるのかもしれない。そしてもうすぐ僕らは確信に至るのだろうね。ワタシはソレであると。

話が前後して申し訳ないですが、先の遊星測候所#01～05,本当はすべてのコラムにそれぞれ相応しいと思う音楽BGMを想定していたんですよ。その時の都合で欠けてるコラムもありましたのでここで改めて補足紹介して終わりにします。読んでいただきありがとうございます！

Column B.G.M

- #01 『病棟の異星の客』 21stCentury Schizoid Man/King Crimson('69)
- #02 『そして万物は反転する』 Hergest Ridge/Mike Oldfield('74)
- #03 『遊星的郷愁を旋りて』 Radio Activity/Kraftweak('75)
- #04 『内面の旅・外面の旅』 Heart Of Gold/Neil Yong('72)
- #05 『ヌーシー・フレグランス・フラグント』 Soon/Yes('74)